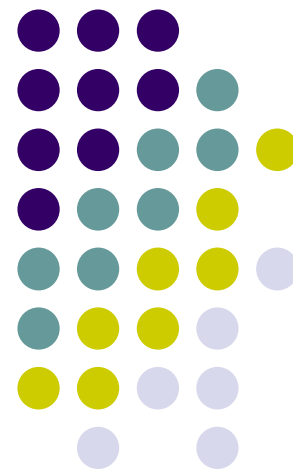


2019年高崎経済大学 リレー講義

# 国際金融業務の現状と課題

2019年 4月 17日

西村康裕

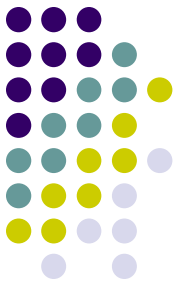


# 講師紹介



- 1977年 京都大学卒、三和銀行(現三菱UFJ銀行)入社
- 1979年 三宮支店外為課(資金・預金・送金課を経て)
- 1980年 外務省出向(資源第1課 主任)
- 1982年 国際金融部主任(中近東・アフリカ・東欧室)
- 1990年 三和銀行ロンドン支店次長(投資銀行部門)
- 2006年 三菱東京UFJ銀行上野支社長
- 2007年 山田ビジネスコンサルティング株式会社
- 2010年 日本振興銀行常務執行役員(再生請負人)
- 2012年 イオンフィナンシャルサービス
- 2014年 株式会社DDホールディングス常勤監査役

# 目次



1. はじめに
2. 国際金融業務の概要
  - ① 外国為替課での仕事
  - ② 国際金融部での仕事
  - ③ ロンドン支店での仕事  
プロジェクトファイナンス(ユーロトンネルPJ)
3. 最近の国際金融ビジネスと課題  
海外送金(ATMの展開)

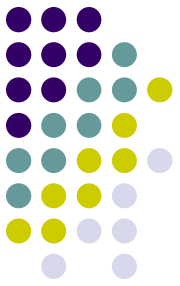
# 1、はじめに



- 銀行の国際金融業務は、戦後の高度経済成長と共に**外国為替取引**などの貿易金融として発達した。
- **プロジェクトファイナンス**などの貸出業務は、法人向け貸出とは異なる様々な特徴を持つが、銀行業務として大きく成長した。
- 近年外国人旅行者の来日(インバウンド)と日本人の海外旅行が増加している。こうした旅行に必要な両替が、**ITとAI**の発達で大きく変わろうとしている。

## 2、国際金融業務の概要

### ①外国為替課での仕事(1979~1980)



- A) 両替・送金係
- B) **輸出係**
- C) 輸入係
- D) 融資係

(注)2019年現在でも業務内容は昔とほぼ同じ。銀行によって電子システムが異なり、自動化の進展に格差がある。

しかし**信用状(L/C)**の主流は紙(ペーパー)である。

# 外国為替取引(輸出)の仕組み

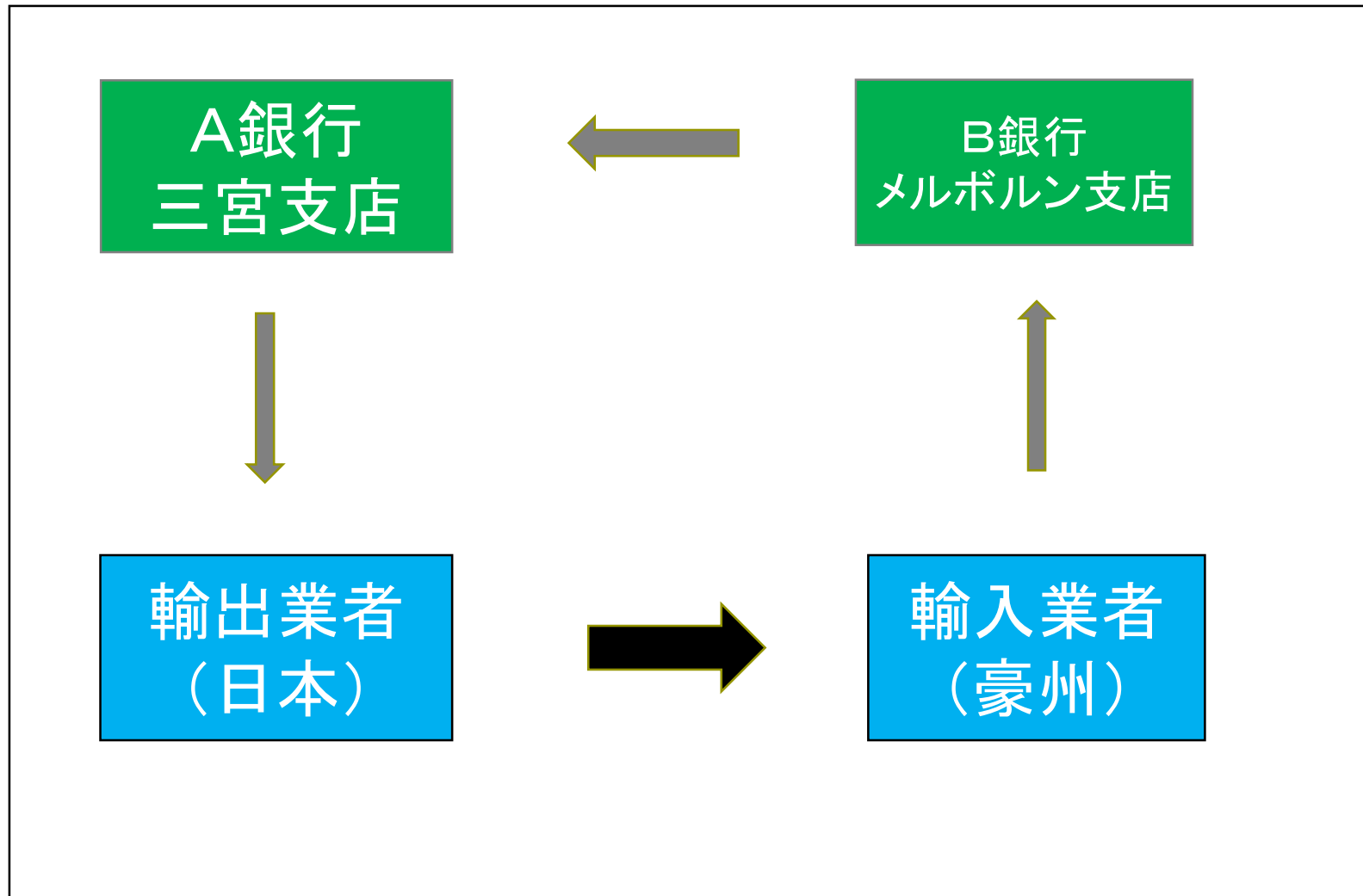
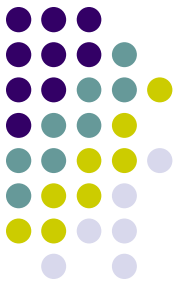


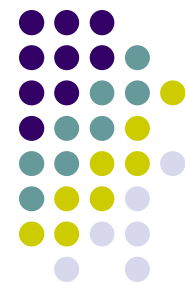
- 貿易取引では19世紀から**決済**上大きな問題があった(英国で発達)
  1. 買う側は貨物を受取った時に金を払いたい
  2. 売る側は貨物を船積した時に金を貰いたい
  3. 海上輸送は危険。大西洋を渡る貨物は運航に1か月以上の期間がかかるのが通常だった。



- 銀行は**仲介**業者として発達した(次項)  
銀行は輸出手形を買取る(ネゴシエーション)  
(コルレス契約に基づき、海外銀行を通じて輸入業者に**代金を取り立てる**)

# 輸出取引(決済)の流れ





# 国際金融業務の発展

1. 外国為替取引(国内支店の仕事)



2. 銀行間取引(本部業務の仕事)



3. 海外支店の成長発展

日系企業融資から投資銀行業務まで





## ② 国際金融部の仕事(1982~1985)

### 1. コルレスバンキング部

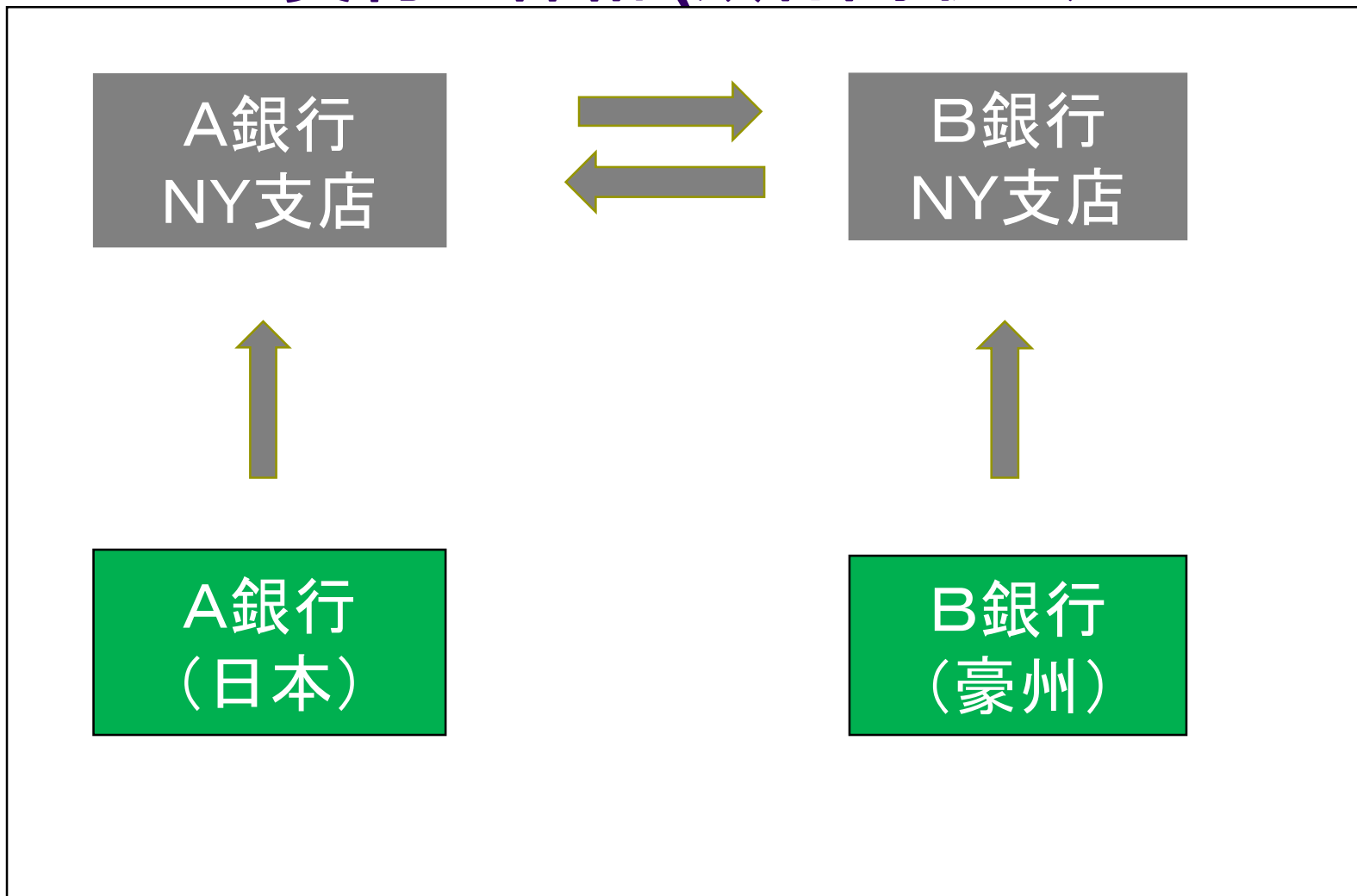
- ① 米州室
- ② 欧州室
- ③ アジア室
- ④ 中近東・アフリカ・ソ連東欧室

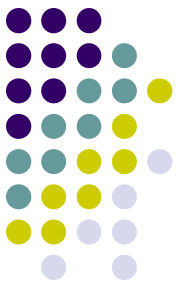
### 2. 国際投融资部

- プロジェクトファイナンスなど

# コルレスバンキング

## コルレス契約の締結(銀行間取引)

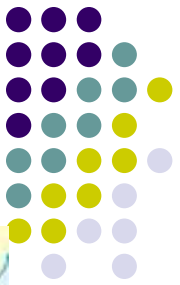




# 国際金融業務の特徴

1. クロス・ボーダー(国をまたぐ)
2. クロス・カレンシー(通貨の交換)
3. 様々なリスク
  - クレジットリスク(借り手の返済能力)
  - カントリーリスク(国の返済能力)
  - マーケットリスク(通貨変動)
  - 税制(関税など)
  - 法律事務(国際契約書の有効性)
  - **国際金融犯罪**(パキスタン事件 次項)

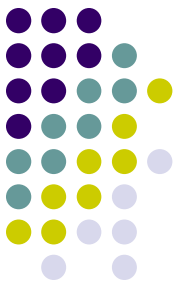
# 偽造L/C事件への対応(1984年)





### ③ロンドン支店での仕事(1990~1994)

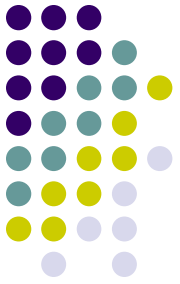
- ロンドンは国際金融都市で世界経済の中心であった(ポンド£)が、20世紀にはニューヨークに移る(ドル\$)
- ロンドン支店の業務は6つ
  - ① 日系企業部門
  - ② 地場企業部門
  - ③ 国際金融部門
  - ④ 投資銀行部門(M&A, 不動産、航空機、プロジェクトファイナンス)
  - ⑤ 資金為替部門(ディーリング)
  - ⑥ 事務部門



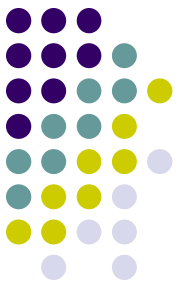
# プロジェクトファイナンスの概要

- プロジェクトファイナンスとは、「借入金の元利金返済が当該プロジェクトの事業収入のみから行われ、且つその担保が当該PJの資産のみである」と定義される。
- **ユーロトンネル**、発電所、ユーロデズニーランドなどインフラ事業への貸出が中心だった。
- 大規模な貸出なのでシンジケートローンになることが多い。

# ユーロトンネル



# ユーロトンネルPJの概要 (1985年～1994年)



## 1、英仏ドーバー海峡を繋ぐ海底トンネル建設PJ

全長50.45km(海底31.35m)

(参考)青函トンネル53.8km、東京アクアライン15.1km

川崎重工業製のシールドが利用された

総建設費(最終)88億ポンド(約2兆円)

サッチャー首相(英)、ミッテラン首相(仏)が関与するPJ

1986年銀行220行による50億ポンドの貸出実行

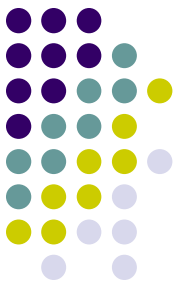
(貸出の国別比率 日23%、仏18%、独13%、英9%)

## 2、費用増加と売上が伸びず1995年に経営危機に陥る

貸出債権の一部放棄により事業は存続(次項)



# パリ北駅(ユーロスター始発駅)



# ロンドン(ユーロスター到着駅)

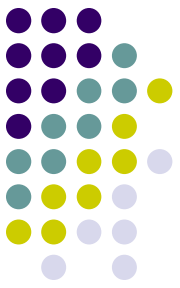


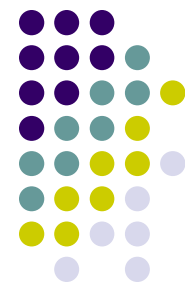
# St Pancras International(英国)



# ロンドン国会議事堂前 (2017年7月)

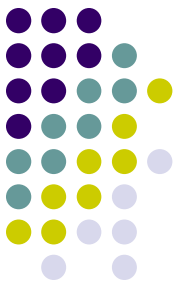
(テロ防止用の鉄骨バリケードで囲われていた)





### 3、最近の国際金融業務の課題

- 1、海外旅行で昔は両替とトラベラーチェックが主流
- 2、最近はカードでATMの利用が主流(次項)  
カードでの出金で両替えが可能となる
- 3、M&Aによる国際資金移動(次項)

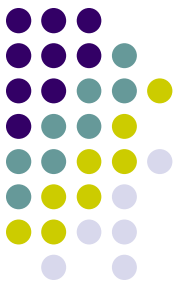


# 決済ビジネスの発展

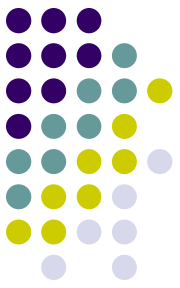
カードによるキャッシュ引出し(両替を兼ねる)

- ① 日本人の海外旅行(次項)
- ② 外国人労働者の海外送金(ブラジル、フィリピンなど日本全国コンビニ2万店余)

# マレーシア滞在ではカード出金で両替



# ATMは画期的な発明だ





# 国際資金移動の巨大化

## M&Aによる資金移動(2018年度)



順位	仲介会社名	金額 (兆円)	件数	備考
1	MUモルガンスタンレー	24.4	59	武田薬品/シャイヤー買収(8.4) ソフトバンク/スプリント買収(6.4)
2	ゴールドマンザックス	22.6	37	シャイヤー(売サイド)
3	JPモルガン	18.4	19	
4	エバーコア	14.8	4	
5	野村証券	14.3	120	昭和シェル/出光興産
6	みずほFG	12.5	187	SMBCは235件で件数では1位
7	シティ	9.8	13	
8	クレディスイス	9.1	17	